

## 第 20 回 スペクトル管理 SWG 議事録

1. 日時：平成 16 年 12 月 10 日(金) 10:00 ~ 19:30
2. 場所：TTC 事務局 4F DE 会議室
3. 出欠者  
出席会員数 / 全会員数 ... 25 / 34 (出席数には議長委任状を含む)  
出席委員数 / 全委員数 ... 38 / 66 (出席数には議長委任状を含む)

以上により会議が成立した。

4. 議事資料：議事次第、各種寄書

### 5. 議事要約

#### 5-1. 前回議事録の承認<SMS-20-01>

第 19 回 議事録内 5-6 保護すべきシステム の文言を修正し承認。

修正内容

ダブルスペクトルの伝送システムについては、同じ PSD をもつシステムの合算は 100 万回線を超えたが、1 システムでは最大でも 90 万回線であった。

#### 5-2. 議事次第について承認<SMS-20-Agenda>

#### 5-3. 議事担当はソフトバンク BB

以降、第 3 版に向けての課題についての議事

#### 5-4. 保護判定基準値について<SMS-20-03,04,05,06,07>

- ・ 導入判定基準の採用について

導入判定基準の採用を要望する会員より、再度提案寄書の報告があったが、合意に至らなかったため、第 3 版以降の継続課題として扱うこととした。

#### 5-5. 課題表整理

- ・ クラス A に 3.75MHz まで使用するシステムを追加するか？ (課題 C.3.6.1)  
G.992.1 Annex-I DBM(FDM)方式をクラス A に追加することが合意された。
- ・ 暫定運用案の扱いについては、第 3 版が標準化されるまでに (3 月) にその扱いをどの様に整理するか SWG にて議論し結論をだすことが合意された。(課題 C.1.8.1)

- ・ 第 2 版でスペクトル適合性確認が実施された方式で、第 3 版にて再計算を実施した結果、利用制限が厳しくなった場合、その扱いについて次回 SWG にて計算結果を元に議論することとした。(C.1.8.1)
- ・ 漏話減衰量の累積値の値について(C.4.6.3)  
導入判定基準の導入が見送られたので、総和 99% 値を採用するようにとの提案がされたが、最終的に採決により第 2 版から変更しないことになった。
- ・ 課題 C.5.3.3、5.3.4、5.3.5 については、課題 C.5.2.1、5.3.3.1 が最低限の合意事項である事を確認し、ANSI T1.424 FTTEEx 用 Mask2 のみが第 3 版に従い導入可能とした。それ以外の方式の扱いに関しては、提案が可能であるが SWG にての合意を必要とする。

#### 5-6. 第 3 版ドラフトについて<SMS-20-18、19、20>

- ・ JJ100.01 第 3 版ドラフト R0 に対し、線路長の定義及び追記・修正等の提案があり必要事項をドラフト版に反映後、再度確認することとした。
- ・ JJ100.01D 章には ITU-T、TTC で標準化されたもののみを記載することとした。このため T1 TR-59:CAP ADSL 方式は、D 章へは記載せず、スペクトル適合性確認結果報告書に記載することとした。
- ・ G.992.1 Annex-A(sOL) クラス A 仕様は、クラスの変更をしない。本文の 6.2 項のクラス A,A'システムに記載するが、D 章へは記載せず、スペクトル適合性確認結果報告書に PSD を含めクラス A のまま記載することとした。

#### 5-7. 今後のスケジュール

- ・ 12 月 21 日迄 編集委員にてドラフト版をアップデート
- ・ 1 月 7 日(午前～) 第 21 回 SWG 会合にてドラフト版を確認
- ・ 1 月 7 日(午後) DSL 専門委員会開催(予定)